Canon キヤノンITソリューションズ株式会社

ニュースリリース

2009年4月10日
キヤノンITソリューションズ株式会社

Web-EDI構築フレームワーク『WebCommerce』がJEITA「Web-EDIガイドライン」の認定を取得

キヤノンITソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：武井 尭）は、自社開発製品のWeb-EDI構築フレームワーク『WebCommerce（ウェブコマース）』において、社団法人電子情報技術産業協会（以下、JEITA）/ECセンターが定めた、次世代EC標準規格『ECALGA（イカルガ）』に対応するWeb-EDIシステムとしての認定を取得しました。

JEITA/ECセンターでは、電子機器・電子部品・半導体業界における企業間商取引の電子化・標準化を推進しており、その標準規格としてECALGAを定めています。このうちインターネット技術を利用した商取引（Web-EDI）に関しては、利用者側に不便さや、使い勝手の悪さなどの問題が発生しないように、システム構築にあたって対応することが望ましい項目をガイドラインにまとめており、これに準拠・適合するシステムに対して認定を与えています。

このたびの認定取得は、『WebCommerce』が利用者にとって使いやすいシステムであることが認められたことになります。これまでも高い評価を受けてきた小売業、機械製造業、自動車部品製造業に加え、電子・電気業界に向けても、1000社を超える当社既存ユーザーへのリプレイス販売および新規顧客への積極展開を図ってまいります。

■ECALGA（イカルガ）
Electronic Commerce ALliance for Global business Activityの略称で、JEITA/ECセンターが標準化、実用化を推進している次世代EC標準の総称。従来の受発注EDI仕様にエンジニアリング段階でのデータ交換を加え、製品開発から生産終了まで電子化範囲を拡大してその仕様をまとめています。

■Web-EDI
インターネット回線、Webブラウザを通じて行うEDI。専用ソフトや特殊な通信機器が必要であった従来の方式に比べ、インターネットに接続できる環境さえあれば利用できるため取引先企業の負担が少なく、EDI実施率の向上が図れるメリットがあります。

■Web-EDI構築フレームワーク 『WebCommerce（ウェブコマース）』
製造業における部材調達や外注管理、流通小売業における商品仕入の効率化を実現するWeb発注システムです。パッケージソフトでありながら、基幹システム連携やレイアウト編集機能を利用して自社独自のWebシステムを構築することができます。
製品URL http://www.canon-its.co.jp/edi/webcommerce.html

© Canon IT Solutions Inc.